

### 企画展示

### 知られざる宮島の魅力 —豊国神社(千畳閣)—

廿日市市宮島歴史民俗資料館と共同して、平成26年11月11日(火)から12月14日(日)まで、企画展示「知られざる宮島の魅力—豊国神社(千畳閣)—」を開催しました。

この企画展示は、まだあまり知られていない宮島の魅力を発掘し、情報発信するための共同作業として、今回は豊国神社本殿(国指定重要文化財、通称「千畳閣」)を取り上げ、その歴史的・文化的価値を伝える関係資料を展示しました。



宮島歴史民俗資料館

豊国神社本殿は、はじめ「経堂」として天正15年(1587)に豊臣秀吉によって建立が発起された宮島随一の巨大な建物です。江戸時代には「大経堂」、あるいは畳を千枚敷けるほどの広さ「千畳敷」と呼ばれました(実際には約850枚)。明治の神仏分離後には本尊釈迦如来像・阿難尊者像・迦葉尊者像は大願寺(宮島)に移され、秀吉を祀る豊国神社となりました。

企画展示では、戦国時代から現代までの資料約40点を展示し、キャプション(解説文)を宮島学センターが作成しました。期間中に1,848名の方にご来場いただきました。

### 公開講座

平成26年11月26日(水)には、展示の関連事業として平成26年度県立広島大学宮島学センター公開講座第2回「千畳閣と宮島の人々」(講師:宮島学センター助教 大知徳子)を実施しました。

講座の後半は、会場を宮島歴史民俗資料館に移して、企画展の観覧とギャラリートークをおこないました。ギャラリートークは、船附洋子さん(宮島歴史民俗資料館)、秋山伸隆センター長、大知が担当しました。



ギャラリートークの様子

ギャラリートークでは、豊臣秀吉が島内を見廻り、塔岡に経堂(現在の千畳閣)を建てることを決断したことがわかる「安国寺恵瓊書状」(天正15年3月18日、大願寺文書)や、江戸~明治時代に経堂(現在の豊国神社)の出店でも売られて



手前が「色楊枝」

いたみやげ物「色楊枝」などについて、キャプションでは語りきれない内容を紹介しました。



## 書籍『宮島学』の刊行

宮島学センターの研究成果をまとめ、平成26年3月末に書籍『宮島学』（溪水社）を刊行しました。4月からは、県内の主要書店にて販売を開始しました。

宮島学センターでは、教員による研究成果を、人間文化学部国際文化学科の授業科目「地域文化学（宮島学）」に反映させるとともに、地元宮島で年3回の公開講座、県内各地で年1回の公開講演会を開催してきました。

このたび「地域文化学（宮島学）」や公開講座等で公開してきた宮島学の研究成果の一部を、一般の読者にもわかりやすい形でまとめ、世界文化遺産「厳島神社」（宮島）の歴史的・文化的価値について、多くの方々に理解を深めていただくための概説書として刊行しました。

本書には7人の教員による9編の論文を収めています。教員の専攻分野は、日本史だけではなく、日本文学、日本芸能史から中国文学、英文学にも及んでいます。それぞれの教員が、自らの研究分野と宮島との接点を見出して学問的に「格闘」した成果をぜひご一読ください。



『宮島学』（溪水社）

なお、刊行から約2ヶ月で初版1,000部を完売し、7月には1,000部増刷しました。



## 平成26年度「地域文化学（宮島学）」

平成26年度の「地域文化学（宮島学）」は、日本史、日本文学、日本芸能史、英文学、中国文学などを専門とする教員が担当しました。国際文化学科2年生を中心に30名の学生が受講しました。

6月1日には、宮島を散策するフィールドワーク、

7月24日には厳島神社の管絃祭に参加するフィールドワークを実施しました。

また、6月3日には、特別講師として福田道憲さん（厳島神社）をお迎えし、特別講義をしていただきました。宮島で育った福田さんは、昭和時代の管絃祭の賑わいを映した写真をスクリーンに投影しながら、子どもの頃に体験された祭の様子について語っていただきました。また、舞楽の譜面を学生に見せながら、演奏方法をお教えいただくなど、神職の仕事についてもご紹介いただきました。



福田さんの授業の様子

日程	テーマ	講師
4/14	「地域文化学(宮島学)」について	大知 徳子
4/21	厳島の舞楽を通して見るアジアの文化交流	柳川 順子
4/28	清盛時代の厳島舞楽	樹下 文隆
5/7	中世の厳島と能楽	樹下 文隆
5/12	厳島合戦を再考する	秋山 伸隆
5/19	厳島神社と石見银山	秋山 伸隆
5/26	宮島の管絃祭	大知 徳子
6/2	外国人が見た明治・大正時代の宮島	天野 みゆき
6/22	宮島散策フィールドワーク	
6/23	厳島神社の管絃祭について	厳島神社・福田道憲さん
6/30	「厳島八景」の成立と柏村直条	柳川 順子
7/13	管絃祭フィールドワーク	
7/14	王朝文化継承者としての平家の人々	西本 寮子
7/21	レポート報告会	

## サテライトキャンパスひろしま 「地域文化学（宮島学）」

平成26年度前期に、サテライトキャンパスひろしまで「地域文化学（宮島学）」を開講しました。この授業は広島大学・広島女学院大学の学生3名が受講しました。



## フィールドワーク

6月22日(日)には、サテライトキャンパス「地域文化学(宮島学)」受講生3名と広島キャンパス「地域文化学(宮島学)」受講生25名が町屋通り、山辺古径などを通して千畳閣・大願寺を巡るフィールドワークを実施しました。



12月13日(土)に樹下文隆・人間文化学部教授の案内で、弥山登山を実施しました。学生の参加は20名でした。当日はあいにくの曇り空。山頂にたどり着く頃には少し雪が降っていましたが、学生たちは山頂付近の堂宇についての解説などに聞き入っていました。

## 図書館企画展示 「移りゆく厳島」

平成26年8月5日～26日まで、広島キャンパス図書館において、企画展示「移りゆく厳島」を開催しました。

この展示は、学芸員養成課程の授業科目「博物館展示論」の受講生である国際文化学科3年坂上知美さん、畑中諄美さん、森彩夏さんが企画・運営をおこないました。展示期間中に、学生による展示説明会も実施し、延べ260名の方が来場されました。



この展示では、厳島の舞楽、厳島八景、明治・大正時代に厳島を訪れた外国人観光客をテーマに、本学が所蔵する絵図や絵はがきを展示しました。

## 企画展示 「クイズで宮島トラベル」

廿日市市立宮島小学校・中学校文化祭(11月5日)で、宮島学センター所蔵資料展示「クイズで宮島トラベル」を開催しました。これは8月に開催した図書館企画展示の内容を元にしたミニ展示です。江戸～明治時代の宮島に関する資料の写真パネルや、雅楽の楽器や譜面などを展示しました。当日は、児童・生徒が楽しく学習できるように、森彩夏さんがクイズ形式で解説をおこないました。この展示には、児童・生徒、教職員、保護者など約120名が来場されました。



「厳島八景」の  
パズルで遊ぶ  
子どもたち



クイズを出す森さん

## 宮島観光ボランティアガイド講座(英語)

学生が宮島で外国人観光客に対するボランティアガイド(英語)をおこないました。

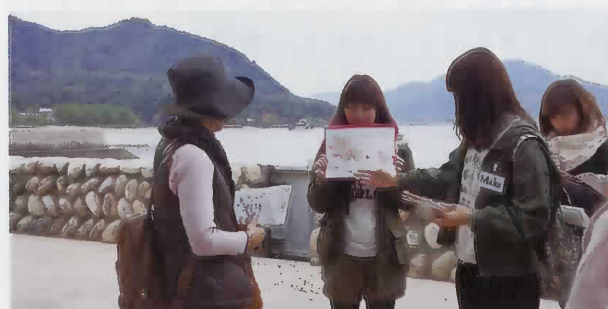
宮島学センターでは、毎年10月から12月にかけて、学生を対象にした「宮島観光ボランティアガイド講座」を開講しています。

学生たちは、講座で身につけた知識とテクニックを使って、宮島を訪れた外国人観光客に対するボランティアガイド(英語)をおこないます。

今年度も、平成26年11月22日(土)と29日(土)に実施し、アメリカ、アルジェリア、オーストラリア、シンガポール、スペインの外国人観光客を、厳島神社、大願寺、豊国神社(千畳閣)などへ案内しました。



学内でバーチャルガイド



宮島での練習

### ガイド当日の様子

宮島口 JR 棧橋に集合した後、4~5人のグループに分かれ、グループごとに外国人観光客に声をかけてガイドを申し出ました。ガイドに参加してくださる方が見つかり、フェリーに同乗して宮島へご案内しました。

午前中のガイドは、宮島棧橋に到着後、海岸通りを経て、石鳥居・狛犬・石灯籠・大鳥居の前を通って厳島神社に参拝します。神社の出口付近で解散する、約1時間半のコースでした。



大鳥居の構造について解説

午後は、石鳥居前で再び外国人観光客に声をかけ、ガイドを申し出ます。石鳥居から厳島神社まで約1時間でご案内しました。



大鳥居の構造について解説

### 参加した学生の感想

この講座を通して宮島について多くのことを学ぶことができ本当に良かったです。また、その得た知識をどのようにして外国人にガイドするのかという、ガイドのコツなども学ぶことができました。実際のガイドでは自分たちが言いたかったことをすべて言うことができたわけではありませんが、楽しんでもらえた様子だったので良かったです。反省点は、何か質問された際に、日本語では答えることができますが、それを英語でうまく伝えることができず、わかってもらえたかどうかかわらなかったこと、また自分から積極的に話しかけることができなかったことです。

この講座で得た知識は今後も何らかの形で役に立つことがあると思うので、この講座に参加して本当によかったと思います。(Y. Y)

(なお、この学生は平成27年4月からカナダに留学する予定です)

### 修学旅行生に対する宮島ガイド (佐賀県多久市立中央中学校2年生(130名))

平成26年5月8日(木)、佐賀県多久市立中央中学校の2年生(130名)が修学旅行で宮島を訪れました。10名程度のグループを作り、宮島の中を散策する生徒たちに対して、本学の学生2名と、教員2名(秋山・大知)、平成25年度末に本学を定年退職された松井輝昭先生の6名でガイドをおこないました。

ガイドは厳島神社・大鳥居・千畳閣・宝蔵・もみじ谷に分かれて待機しており、訪れた生徒たちに各スポットの見所を解説しました。

また、宮島歴史民俗資料館にもご協力いただき、生徒たちが同館を訪れた際に解説をしていただきました。



## 平成26年度公開講座・講演会

### 宮島学センター公開講座

(廿日市市教育委員会・廿日市市生涯学習推進本部と共催)

第1回

7月23日「厳島合戦再考」

講師：秋山伸隆

会場：はつかいち文化ホールさくらびあ

受講者：235名



第2回

11月26日「千畳閣と宮島の人々」

講師：大知徳子

会場：国民宿舎みやじま杜の宿

受講者数：107名

第3回

平成27年2月18日「清盛時代の厳島舞楽」

会場：国民宿舎みやじま杜の宿

講師：樹下文隆（人間文化学部教授）

受講者数：39名

### 宮島学センター公開講演会

(庄原市教育委員会と共催)

平成27年3月21日「厳島合戦と備後国」

会場：庄原市ふれあいセンター

講師：秋山伸隆

受講者数：30名

### 全国厳島神社参詣記⑥

#### 厳島神社(備後一宮 吉備津神社の境内)

所在地：新市町宮内四一九

福山駅から福塩線に乗り換え、新市駅で下車し、備後一宮である吉備津神社に向かって歩くこと15分。「御池」と呼ばれる大きな池が見えてきます。ここに、厳島神社が鎮座しています。



ご祭神は多紀理比売神、多岐都比売神、市寸島比売神で、航海安全と殖産興業の守護神として信仰篤く、元禄年間（1688～1704）の勧請と言い伝えられています。

一宮である吉備津神社の境内に鎮座しているので、備後にご旅行の際には、ぜひどちらにもご参拝ください。（大知徳子）

### 研究余録⑥

#### 宮島の雪景色

平成26年12月17日。広島県南部に雪が降り、早朝から公共交通機関は運休や遅延など大幅に乱れていました。駅のホームは、戸惑う人々であふれていましたが、私は雪景色の宮島を撮影できる好条件に、心を躍らせていました。

江戸時代に生まれた「厳島八景」の一つには、「御笠濱暮雪」が選ばれています。「芸州厳島図会」は、「御笠濱」を「鳥井（大鳥居）の州ともいふ。また本社あたりをすべていふともいへり」と説明しているので、「御笠濱暮雪」とは、厳島神社の社殿や大鳥居のある一帯（御笠濱）に降り積もる雪の美しさを示しています。

また、本センターは明治25年（1892）小国政筆の錦絵「日本三景の内宮島」を所蔵しています。雪が降り積もる大鳥居と厳島神社を背景に、西の松原で、鮮やかな色合いの着物で着飾る女性たちが、鹿と戯れる様子を描いています。この絵も、あるいは「御笠濱暮雪」が意識された構図なのかもしれません。



「日本三景の内 宮島」



(安福原島) 厳島神社雪景 AKI IITSUKUSHIMA

大正7年～昭和7年頃の絵はがき「厳島神社雪景」も、西松原で撮影された写真です。

人々は、これらの絵や「御笠濱暮雪」を題材とした和歌や詩に触れ、宮島の雪景色を、一度は見たいと願ったことでしょう。

本センターの開所は平成21年4月でした。以来、冬になると宮島の雪景色を撮影すべく機会をうかがっていましたが、なかなか好条件に恵まれません。この日も午後には、石造物に積もる雪が溶けていました。

宮島では、四季や朝夕が異なれば、それぞれ異なる美しさを感じることができます。ぜひ何度も訪れていただきたいと願っています。



平成26年12月17日 撮影

(大知 徳子)

**寄稿 「厳島神社遊記」**  
 県立広島大学 人間文化学部教授 侯仁鋒

厳島神社遊記

厳島神社奇、緑中丹紅霓、  
 潮去青山前、浪来碧波里。  
 朱柱回廊転、青灯殿前立、  
 亭榭向海伸、鳥居共涟漪。  
 神境鹿悠閑、遊人密如織、  
 施主虔誠心、合掌求如意。



(日本語訳)

厳島神社遊記

厳島神社は奇観であり、緑に赤が煌めきあう。  
 潮が去れば青山の前に、波が寄せれば碧海にあり。  
 朱柱は回廊に沿って延び、青灯は殿前に立つ。  
 亭の舞台は海に突き出て、大の鳥居は波に泳ぐ。  
 神境の鹿はのんびりと、観光の人波は行き交う。  
 施主は真心もて、合掌して万事順調を願う。

(侯教授は宮島学センター運営委員です)

**編集後記**

宮島学センター通信第6号をお届けします。平成26年3月に、書籍『宮島学』を発行しました。書籍は全9章からなり、本学の「地域文化学(宮島学)」の授業を元にして、昨年3月に退職された松井輝昭先生をはじめ7名の教員が執筆しました。お手にとっていただきましたら幸いです。(0)

**編集・発行**

**宮島学センター通信 第6号**

平成27年3月31日発行

**県立広島大学宮島学センター**

〒734-8558 広島県広島市南区宇品東一丁目1番71号

TEL.082-251-9550

E-mail:miyajima@pu-hiroshima.ac.jp

ホームページ:

<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/miyajimagaku/index.html>